



田村市長に研修報告をする盛岡中央高の生徒たち

夢に向かい貴重な経験

青少年派遣研修事業参加報告

盛岡中央高の生徒3人は3月 日、市役所を訪れ、オーストラリアのアデレードで、約2週間の現地学生の生活体験を田村正彦市長に報告。最初は英会話に不安があったが、積極的に会話を心掛けることで、ホストファミリーらに溶け込めたと振り返ります。

将来は「数学者」「生物に関する仕事」「出版関係の仕事」に就きたいと語る生徒たち。田村市長の「どんな仕事でも将来的に英語は必要になる」という言葉に、貴重な経験を将来に生かす決意を新たにしました。

経験生かし今後も貢献

平成 9年度市地域おこし協力隊卒業報告会

平成 年度で市地域おこし協力隊を卒業する菊池光洋さん(7)の卒業報告会は3月 7日、市役所で開かれ、田村正彦市長や同隊員ら約 人に3年間の活動や今後について報告しました。

菊池さんは、修学旅行での農業体験の受け入れ・手配や七時雨マウンテントレイルフェスの事務、ふるさと納税返礼事業に尽力。今後も市内に居住し、(一社)ドリームプロジェクトで、ふるさと納税返礼事業の職務に当たります。



3年間の思い出も交え、活動を報告しました

スキー教師交流深める

第44回SIAフェスティバル

(公社)日本プロスキー教師協会 SIA が主催する第44回SIAフェスティバル は4月4日から 日までの9日間、安比高原スキー場周辺を会場に開催。イタリアから講師を招聘し、スキー教師の検定会や技術講習会、初心者向け練習会などが開かれました。

8日はホテル安比グランドでウェルカムパーティーが開かれ、SIAスキー教師や地元関係者など約 人が参加。総裁を務める 彬子女王殿下は「スキーの発展のため、交流を深めてほしい」と述べられました。



ウェルカムパーティーであいさつされた彬子女王殿下

誕生祝いスプーン贈呈

出生記念品(子ども用スプーン)贈呈事業

市は、赤ちゃんの誕生を祝って、市の特産品である安比塗の子ども用スプーンを贈呈する記念品事業を始めました。対象は4月以降に生まれた新生児で、出生届を窓口に提出する際に贈呈します。

4月 7日に出生届を提出し、記念品事業第1号となった田村望ちゃんの母の万浪さん=山崎=は、「この事業は初めて知ったので、びっくりしました。地元で伝わるものをいただけてうれしいです。離乳食を食べさせる時に使うのが楽しみ」と笑顔で喜びました。



安比塗の子ども用スプーンを受け取った万浪さんと望ちゃん

目指せ！オリンピック

市スポーツ少年団結団式

市スポーツ少年団結団式は4月 日、市総合運動公園体育館で行われました。式には、ソチ、平昌オリンピックノルディック複合日本代表の永井秀昭選手が出席し、約 人の後輩団員を激励しました。

団員を代表し、本年度発足した市ラグビースポーツ少年団の田村良芽君と田村友芽さんが、今季の決意を表明。式後、田山スポーツ少年団の安保息吹君は「一日一日を大切に、一生懸命練習に取り組んで、自分もオリンピック選手になりたい」と意欲を燃やしました。



決意を表明する田村良芽君と田村友芽さん

新制服をまとい初登校

平成3 年度平館高校入学式

平成 年度平館高校入学式は4月 6日、同校体育館で行われ、7人(普通科4人・家政科学科4人)の生徒が入学しました。

平館高校創立7周年を期に、紫根染のカラーである紫色のライン入りブレザーに制服を一新。新制服姿で緊張した面持ちの新入生を、在校生が拍手で迎えました。西根第一中卒の遠藤朱梨さんは「将来の夢や目標達成に向けて精一杯努力し、勉強や部活動、社会貢献に取り組みます」と誓いました。



太田優子校長の前で新入生を代表し、宣誓する遠藤さん

すなっぶギャラリー



3月25日で100歳を迎えられました齊藤キヨさん=日瀬通=いつまでもお元気で(4月15日、湯瀬ホテル)



緊張でいっぱいだけど元気にお返事ができました(4月9日、寄木小入学式)



トレインジャーと一緒に踏み切りの正しい渡り方を学んだ平館小1・2年生(4月18日、鉄道安全教室)



岩鷲護神ハチマンタイラーが児童に黄色い羽根を配布し交通安全を呼び掛けました(4月12日、大更小)



安代漆工技術研究センター修了制作展で卒業制作を披露する修了生(3月30日、市役所多目的ホール棟)